

競 技 注 意 事 項

1 競技について

- (1) 本競技会は 2020 年度日本陸上競技連盟規則並びに、本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 学校対校戦とはしない。
- (3) 競技場は全天候舗装につき、全天候専用スパイクピンを使用すること（全天候専用であっても先端が鋭利なものは使用不可）。ピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳、やり投の場合は 12mm 以下のものを使用してもよい。
- (4) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、砲丸を除く投てき用具（競技実施日の検査で合格したものに限り）は競技者が持参した用具の使用を認める。
 - ・投てき用具の検査については、当該種目の実施日ごとに検査を受け、当日のみ有効とする。
 - ・検査場所は、競技場正面入口付近に設ける。また、検査時間は 1 日目 2 日目とも 9 時 00 分～11 時 00 分とする。
 - ・検査を受けていない用具、不合格の用具は競技場内に持ち込まないこと。
- (5) アスリートビブスは、高体連配布のものを胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でよい。
大きさについては、高体連配布のものをそのままの大きさ（横 24cm 縦 20cm）で使用する。
- (6) トラック種目において、不正スタートを行った競技者は失格となる。
混成競技の不正スタートは 1 回のみとし、2 回目以降不正スタートを行った選手はすべて失格となる。
（日本陸上競技連盟競技規則 162 条 8 による）
- (7) トラック競技は腰ナンバー標識を使用する。腰ナンバー標識は高体連のもの（黄色）をそのままの大きさで右腰やや後方につけること（横 18cm×縦 12cm よりも小さくしない）。
①～⑯番までは各校で準備し、⑰番以降については招集所で配布したものを使用する。また、リレー種目においては第 4 走者のみが腰ナンバー標識をつけること。
- (8) 混成競技の最終種目において、競技者はスタート地点で配布する腰ナンバー標識をつけること。
- (9) リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙に必要事項を記入し、第 1 組目の招集完了時刻の 1 時間前までに招集所の競技者係に 1 部提出する。
- (10) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動について現地の競技審判員に申告する。
- (11) トラック種目の +α の同記録者の取り扱いについては日本陸上競技連盟競技規則第 167 条による。

2 招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場 100m スタート地点後方の第 4 ゲート入り口付近に設ける。
- (2) トラック競技に出場する競技者は招集開始時刻には、招集所にて競技者係から点呼を受けること。フィールド種目に出場する選手の招集は各競技場所で行う。（招集開始時刻、招集完了時刻は競技順序に記載のとおり）
- (3) 招集は本人が点呼を受ける。ただし、他の種目に出場している場合のみ代理を認める。
- (4) 他種目と兼ねて同時に競技する競技者は、競技者係及びその種目の審判員に申し出て、競技に支障のないようにする。（日本陸上競技連盟競技規則第 142 条 3 による）
- (5) 混成競技の招集は、第 1 日目および第 2 日目の最初の種目において招集所にて競技者係から点呼を受けること。各日の第 2 種目以降については、トラック競技は競技開始時刻の 15 分前、フィールド競技は競技開始時刻の 30 分前に各競技場所で行う。

3 練習場所について

競技場正面入り口に向かって左側のアスファルト駐車場（コーンで区切ってある）、バックスタンドアスファルト通路を含む上段芝生エリア、ならびに競技に支障の無い時間帯で競技場内バックストレートエリアを使用すること。なお、競技場内での W-Up はスターティングブロック・ハードル等の器具を使用した練習は禁止とする。

4 跳躍競技のバーの上げ方について (天候、その他の状況により変更する事がある)

走高跳	男子	1.50 (練) 1.55-1.60-1.65-1.70- -2.00 以降 3 cm刻み
	女子	1.30 (練) 1.35-1.40-1.45-1.50-1.55 以降 3 cm刻み
棒高跳	男子	3.30 (練) 3.80 (練) 4.40 (練) 3.40-3.50-3.60 以降も 10 cm刻み
混成 走高跳	男子	1.35 (練) 1.40-1.45-1.50-1.55-1.60-1.65-1.70 以降 3 cm刻み
	女子	1.10 (練) 1.15-1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45 以降 3 cm刻み

- (1) 走高跳、棒高跳で最後の一人になり優勝者が決まるまで上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2 cm、棒高跳は5 cmとする。

5 計測記録および踏切板について (天候、その他の状況により変更することがある)

種目	走幅跳	三段跳
男子	5m50	10m00
女子	4m00	8m00

※三段跳の踏切板は男子：10m・女子：8mとする。

6 表彰について

- (1) 各種目の3位までの入賞者には賞状を授与する (表彰は行わない)。

7 選手の移動、応援並びにテントの設営について

- (1) 競技者以外は競技場内に立ち入ってはならない。
- (2) 集団応援は禁止とする。
- (3) スタンドにおけるテント設営は禁止とする。
- (4) 各校の待機場所からの移動は最小限にすること。

8 救護体制について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて医務員による応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。
内科的症状については各校で対処すること。

9 その他

- (1) 大会プログラムは作成せず、競技結果の掲示も行わない。競技順序、招集時刻、出場レーン、試技順、競技結果、決勝の番組編成などはアスリートランキングで確認すること。
- (2) 開会式・閉会式は実施しない。
- (3) 原則、競技以外の時はマスクの着用をすること。
- (4) コロナ禍におけるソーシャルデスタンスと消毒については現地スタッフ役員の指示に従うこと。